

## Part A ..... 9

### Model Presentation

#### 模範プレゼン

いいプレゼンの特徴を知ろう ..... 10

### Speed Check

#### 基本チェックリスト

予習とスピードチェック ..... 17

## Part B ..... 23

### Story 1

#### ① 筋書き (1)

#### 研究の「筋書き」を しっかりと伝えよう ..... 24

- 1.1 科学プレゼンとして  
基本的な要素を揃えよう
- 1.2 視野を広げて研究の話を科学や  
社会全体の問題と関連付けよう
- 1.3 話の主要「登場人物」を  
覚えやすく、区別しやすくしよう
- 1.4 自分を登場人物として  
出演させよう
- 1.5 できるだけ聞き手に興味をもって  
もらえるような説明にしよう

### Slides

#### ② スライド

#### 無駄なく簡単にできる順番で つくろう ..... 34

- 2.1 目的スライドをつくらう
- 2.2 結果スライドをつくらう
- 2.3 結論スライドをつくらう
- 2.4 タイトルスライドをつくらう
- 2.5 方法スライドをつくらう
- 2.6 背景スライドをつくらう
- 2.7 つくったスライドのデザインを  
チェックしよう

### Script

#### ③ 原稿

#### 無駄なく簡単なスタイルで 原稿を書こう ..... 55

- 3.1 できるだけ短くて  
明確な表現を使おう
- 3.2 プレゼンのパート間の区切り  
(スライドの種類) を  
はっきりさせよう
- 3.3 情報源を明示しよう
- 3.4 学術論文を読み慣れているでも、  
形式張った「書き言葉」表現を  
口頭でのプレゼンに  
もち込むことは避けよう
- 3.5 原稿を作成するときは、  
できるだけ簡単に明確な文法で  
書こう
- 3.6 作成したスライドから文章形式  
(SVO) のスライドタイトルや他  
の要約文を原稿にコピーしよう

3.7 慣れない間は、スライドタイプに  
応じて標準的に使われている  
一番簡単な表現を使おう

3.8 タイトルスライドの原稿

3.9 背景スライドと  
考察スライドの原稿

3.10 目的スライドの原稿

3.11 方法スライドの原稿

3.12 結果スライドの原稿

3.13 結論スライドの原稿

### Story 2

#### ④ 筋書き (2)

#### 話しかける相手に合わせて 研究の筋書きを はっきり説明しよう ..... 76

- 4.1 プレゼンする場にどんな人が  
聞きにくるのか調べておこう
- 4.2 予想される来場者が  
既に自分の研究分野について  
どれだけ詳しく知っているか、  
慎重に検討しよう
- 4.3 専門家ではない人に対しては、  
データを少なくして背景説明を  
多くしよう

### Speaking

#### ⑤ 発音

#### 単語の発音や文章の強調単語を 確認しよう ..... 86

- 5.1 プレゼンしている最中に  
少し遠くからでもすぐに読める  
ように原稿の書式を整えよう

- 5.2 原稿に書いてある単語の  
正確な発音をチェックしよう
- 5.3 それぞれのスライドの意味を  
はっきりさせる単語を強調しよう
- 5.4 原稿を暗記しよう

### Stage

#### ⑥ プレゼンのための表現力と質疑応答 親しみやすく熱意を込めて ..... 103

- 6.1 表現力の練習を始める前に  
原稿を確実に暗記しよう
- 6.2 実際の発表会場に  
できるだけ近い条件で練習しよう
- 6.3 練習している自分の姿を  
ビデオに撮ろう
- 6.4 聞き手と上手に意思疎通しよう
- 6.5 レーザーポインタを上手に使おう
- 6.6 質疑応答セッションで出てくる  
質問をちゃんと聞きとれるように、  
できるだけ前もって  
リスニングの練習を始めておこう
- 6.7 質疑応答で聞かれそうな質問を  
前もって想定しておこう
- 6.8 質疑応答「サバイバル術」を  
練習しよう
- 6.9 自分自身を上手にプレゼンしよう

## 付録 ..... 117

索引 ..... 123